

# ナイトタイムを楽しもう!

千葉市の夜のイベントを紹介します。夜ならではの魅力をお楽しみください。

問経済企画課 ☎245-5359 FAX245-5558

## 千葉みなとフライイベント「アロハ ホノちば」

ステージ発表やハワイアングッズのショップスペース、飲食ブースなどで千葉みなとエリアの夜を盛り上げます。

日時 10月5日(出)  
14:00~20:00

場所 ケーズハーバー周辺  
問感動舎  
☎223-0125 FAX441-7225



市では、地域経済の活性化や夜間のにぎわいを創出するため、ナイトタイムエコノミー(夜間の経済・文化活動の振興)の推進につながる取り組みを支援しています。

詳しくは、[千葉市観光ガイド](#)

## ちば富士見屋台横丁

県内産の食材を楽しめる屋台20軒が集合します。たくさんのちょうちんをともし、情緒ある夜を演出します。

詳しくは、[ちば富士見屋台横丁](#)  
日時 11月30日(出)15:00~23:00  
12月1日(日)10:00~22:00

場所 千葉駅前通り  
問r-223 (株読売千葉広告社内)  
☎225-1438 FAX225-4338



## タワパ~Chiba Porttower Music Party~

夜景を楽しめるナイトディスコを開催します。ここでしか味わえない非日常な体験をしませんか。

日時 ・ハロウィンパーティー  
10月11日(金)・18日(金)・  
25日(金)・31日(休)、  
11月2日(出)19:15  
~22:30  
・カウントダウンパーティー  
12月31日(火)22:30  
~25:00

場所 千葉ポートタワー展望フロア  
料金 3,000円(別途飲食代)  
問千葉ポートタワー ☎241-0125 FAX203-1588



## YORU MACHI

街中に屋外スケートリンクを設置します。イルミネーションを眺めながらナイトスケートを楽しみませんか。

日時 ・パレード 11月30日(出)  
・スケートリンクオープニングセレモニー  
11月30日(出)  
・スケートリンク  
11月30日(出)~来年3月22日(日)  
・イルミネーションラウンジ  
11月30日(出)~来年3月22日(日)

場所 中央公園周辺  
時間やスケートリンク利用料など、詳しくはお問い合わせください。  
問千葉商工会議所 ☎227-4103 FAX227-4107



# 秋のダイヤモンド富士を見よう!

ダイヤモンド富士は、富士山頂に重なった太陽がダイヤモンドのように輝く現象です。市内では、10月14日(祝)~23日(水)の10日間にわたり海越しのダイヤモンド富士を観賞するチャンスがあります。

## ダイヤモンド富士の見頃



**A** フェスティバルウォーク蘇我  
14日(祝)16:57 コロコロ  
15日(火)16:56 テッペン  
16日(水)16:55 左ダイヤ  
**B** 千葉ポートタワー  
15日(火)16:57 コロコロ  
16日(水)16:55 テッペン  
17日(木)16:54 左ダイヤ  
**C** アクアリンクちば  
17日(木)16:53 コロコロ  
18日(金)16:53 テッペン  
19日(土)16:52 左ダイヤ

**D** いなげの浜 ビーチセンター付近  
18日(金)16:52 テッペン・コロコロ  
19日(土)16:52 テッペン  
20日(日)16:51 左ダイヤ  
\*いなげの浜は、10月6日(日)にリニューアルオープンします。  
**E** 稲毛ヨットハーバー付近  
19日(土)16:50 テッペン・コロコロ  
20日(日)16:50 テッペン  
21日(月)16:49 左ダイヤ  
**F** ZOZOマリンスタジアム付近  
21日(月)16:48 コロコロ  
22日(火)16:47 テッペン  
23日(水)16:46 左ダイヤ



観賞スポットの周辺情報など詳しくは、[千葉市観光ガイド](#)

問観光協会 ☎242-0007 FAX301-0280

緑政課(いなげの浜のリニューアル) ☎245-5789 FAX245-5885



千葉を知る

## 五、貝塚の守り人

昭和の高度経済成長期。宅地造成が優先される開発一辺倒の時代に、加曽利貝塚は消滅の危機にありました。県立千葉高校の社会科教諭であった武田宗久氏は、この遺跡を後世に残したいという強い意志のもと、全国初の市民主導による遺跡保護運動を成功させ、この危機を乗り越えました。



武田宗久氏

学生時代に加曽利貝塚の発掘調査に参加し、後に、加曽利貝塚博物館長を務めた後藤和民氏は以下のように振り返っています。

1963年、日本考古学協会にて、一人の考古学者が「加曽利貝塚の発掘と現状について」発表を行った。その前年の発掘調査を坦々と語る口調は、いささか悠長で、つい眠気を誘うほどであった。

ところが最後の「現状」の段になると、にわかに日焼けした顔を上げ、メガネの奥から炯々たる眼光で会場をにらみつけながら、「加曽利貝塚は日本のポンペイです。それを無下に破壊しようとする今日の開発こそ魔神の暴挙です」と叫んだ。この気魄に、思わず眼を見張った。当時考古学専攻の学生であった私の、これが武田先生との初めての出会いである。(貝塚博物館紀要第29号より)



貝塚の保護を求める署名活動

武田氏の情熱はその場に居合わせた研究者や学生の心を動かし、保存に向けた機運が一気に高まりました。市民による1万を超える署名も集まり、貝塚は守られ、2017年には遺跡の中の国宝にあたる特別史跡に指定されました。

問都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 FAX245-5476